

子どもたちに輝きを！

南丹市教育委員会 教育長 木村 義二

皆様方には平素より、南丹市教育委員会の活動に関しまして多大なるご理解とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

国際情勢の不安や物価高騰などが日々報じられていますが、一方で、コロナ禍での生活は徐々に制限が緩和され、コロナ前の日常を取り戻しつつあります。そんな中、子どもたちは努力を重ね、周りを思いやる心を育み、日々成長しています。

今年度は、スポーツ・文化活動において子どもたちが非常に優秀な成績を収め、多くの人に感動と勇気を与えてくれました。教職員の教育への熱意と努力、そして保護者並びに地域の皆様が子どもたちを温かく見守り、ご支援いただいた賜物と深く敬意を表します。

子どもたちには色々なことに挑戦してほしい、そして南丹市の子どもたちが輝き、未来に向かって夢と希望を持ってそれぞれ人生を歩んでほしいと考えています。

そのためには、学校教育だけではなく家庭や地域社会の三者が一体となった教育が不可欠であり、連携を密にしてそれぞれの目指すべき場所を共有し、手を取り合って様々な事業に取り組んでいくことが大切です。

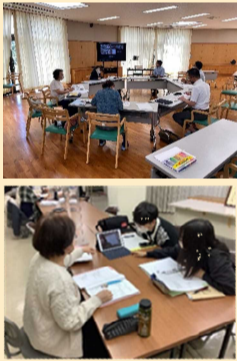
今後も、子どもたちの豊かな育ちを実現していくための取り組みを進めて参りますので、より一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◇南丹市教育委員会の取り組みと事業展開について◇

南丹市共同学校事務室、 京都府優秀団体に表彰！

南丹市共同学校事務室は、南丹市の子どもたちの教育を充実させるという目標に向け、学校の機能強化を図り、事務部門における職務体制を整備するために設置されました。事務処理の適正化、学校事務の標準化・効率化、学校のマネジメント機能の強化を目的とし、業務改善にも取り組んでいます。

南丹市共同学校事務室の先進的な取組は、府内の他の自治体からも視察に來られ、組織体制や運営方法などを参考にされています。また、この取組や活動が京都府教育委員会より評価され、令和4年度京都府優秀教職員表彰（団体等）を受賞しました。



情報教育の推進について

南丹市では、小学校低学年から発達段階に応じてICT機器の操作を身につけ、効果的に活用できる力を育てています。

GIGAスクール構想によって一人一台配付された学習用タブレット端末を授業で効果的に活用するため、研修会や授業研究会を開催し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践に取り組んでいます。

また、ICT機器の活用を通して、情報処理能力及び情報活用能力を高めるとともに、人権的な視点を重視した情報モラルの習得も計画的に進めています。

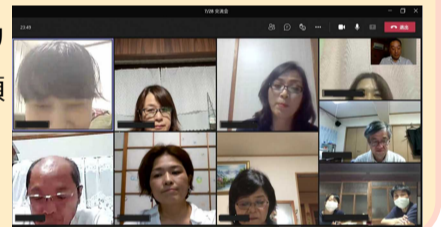


地域学校協働活動推進員について

各学校には、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）が学校運営協議会の一員として任命されています。

学校運営協議会や熟議で出たアイデアを、具体的な子どもの学習活動にするため、人材を探して学校と繋ぐことや、学校の助け役としての役割を担っています。

様々な活動があるため、地域の皆様のお力が必要になります。学校を知る良い機会になりますので、地域学校協働活動推進員から声がかかれば、活動へのご協力をよろしくお願ひします。



◇各幼稚園・小学校・中学校における特色ある取り組み◇

園部 幼稚園



めざせ！こま名人 ～目標に向かって根気よく～

クリスマスにサンタさんから「こま」のプレゼントが届きました。回すためには何度も挑戦しなければなりません。先生達は一緒に遊びながら「回せるようになりたい！」と子ども達の心が動くかわりをします。

また「こまチャレンジ」というミッションも考えました。1分間回せること、2回続けて回せること等、挑戦する子ども達の顔は真剣そのものです。共に頑張ろうと応援してくれたり、気が付いたことを教えてくれる友達は大きな存在です。遊びを通して、すぐにあきらめず、少し難しいことでも仲間と共に挑戦し、根気よく取り組めるよう、達成感や充実感を味わえるような体験を大切にしています。

園部 八木中央幼稚園



「おには～そと！ふくは～うち！」
～5歳児の優しさあふれた節分遊び～

毎年「節分遊び」には、地域の方や職員等が鬼に扮して豆まきをしています。

今年は、年長児が中心となりどんな節分遊びにしたいか話し合うと、「鬼になりたい」「怖がる子もいるので“守り役”がいる」「小さい組には優しい鬼がいいな」などたくさんの思いが…そんな年長児のかかわりで1歳～4歳の子どもたちの笑顔があふれていました。

怖いだけの鬼ではなく、相手のことを思いながら伝統文化に触れる1日となりました。

遊びの過程を大切にしたい取組をすすめています。

園部 小学校



「文部科学大臣表彰受賞！！」

このたび、本校学校運営協議会の取り組みが認められ、令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。地域の方による登下校の見守りや、ステッカーを使った見守りをいただいています。また、全ての学年のカリキュラムには、地域のお力を活かして子どもたちを育む授業が組まれています。これらが評価され、受賞しました。今後も学校と地域が連携し地域全体で子どもたちを育てていきたいと思ひます。

園部 第二小学校



親子道徳『「あいさつ」について考えよう』の様子

「あいさつなど、温かい言葉を交わせる子」これは、地域・家庭・学校がともに「コミスクわいわい会議」(熟議)を行い決定した本校の「育てたい『その二つ子』」像です。

これをもとに、今年度は全学年があいさつをテーマに親子道徳を実施し、子どもたちが保護者の方や地域の方と一緒にあいさつについてじっくりと考え合いました。「あいさつをすることで自分や相手がどんな気持ちになるのか」「お家の方や地域の方があいさつにどんな思いを込めているのか」などについて話し合いながら、あいさつを改めて見つめ直すとともに、新たな考えに触れたり考えを深めたりすることができました。

八木西小学校



あはつで
笑顔であいさつ 自らあいさつ
八木中学校ブロック

「八木町あいさつ DAY」 児童と保護者・民生児童委員さんが八木駅前であいさつ運動を展開

八木西小学校では、保護者や地域の方と共に連携して地域道徳に取り組んでいます。

今年度は、地域道徳の取組として八木町の皆さんに呼びかけて、八木のみんで取り組むあいさつ運動「あいさつ DAY」を行いました。児童、PTA、学校運営協議会、民生児童員、保護司会、消防団、商工会など、地域の皆さんと一緒に実施し、当日は多くの方から気持ちよいあいさつをいただきました。「あいさつで朝から地域が繋がっている感じが。」とお声をいただくほど、八木の町全体であいさつの取組が少しずつではありますが広がったようでした。これからもあいさつを通して「あいさつで 今日も 八木町 絶好調！！」の気持ちを広げていきます。

八木東小学校



6年「みんなで道徳」～コロナ禍の医療現場のお話を聞いて考えよう～

八木東小学校では、「地域道徳」推進校として、「特別の教科道徳」の授業改善と共に、保護者や地域の方々と共に「道徳心」を高めていく取組を工夫しています。

その一つとして、PTA 親子活動で「みんなで道徳」に全学年で取り組みました。共に学び、話し合うことを通して、「親の私も勉強になりました」「家でも感謝の気持ちを忘れないことを伝えようと思います」「共に行動を起こすチャンスになると思います」など、子どもも大人も道徳的価値を実現する上での気づきが深まりました。

殿田小学校



地域・家庭・学校が協働して取り組んだクリーン大作戦

6年生はふるさと学習として環境学習に取り組んでいます。ビニールなどのマイクロプラスチックごみが、川や海の生き物にも影響すること、それは私達人間にも関わることを、大学の先生のお話や映画などから学びました。

10月には身近な学校周辺の川の環境を美しくしようと、全校児童や地域・保護者の皆さんに呼びかけ、クリーン大作戦を行いました。100名を超える方の参加のもと、南丹清掃(株)の皆様方にもお世話になり、分別リサイクルの大切さについて教わりました。美しいふるさとを守るために自分達にできることを考える貴重な機会となりました。

胡麻郷小学校



校内掲示した親子読書カード

夏休みに全校で「親子読書カード」に取り組みました。親子で同じ本を読み、思いや考えを伝え合うことによって、大人も子どもも読書への関心を高めることをねらいにしています。カードに互いの感想や意見、イラストなどを思い思いに描いてまとめました。保護者からは、「子どもと一緒に、お話しにひたることができ、楽しいひとときが過ごせました。」等の感想をいただきました。学校行事の際に、全作品を掲示すると同時に、学校運営協議会の方々に表彰をしていただき、地域とともに児童の読書への関心を高めているところです。

美山小学校



間近に見るヘリコプターに興味津々

3年生では、社会科で警察の仕事について、校区の駐在所や南丹警察署の協力のもと、市民の安全安心がどのように守られているのかを学習しました。空き缶についた指紋を採取したり、不審者が現れたときの対応を体験的に学んだりすることができました。

また、京都府警察航空隊のヘリコプターが校庭に飛来・着陸して、全校児童で見学し、間近に機体を観察したり、隊員の方に質問したりして、身近に警察の仕事を感じることができました。

園部中学校



いのちの学習講演会

園部中学校では、人権尊重を全ての教育活動の基盤に据え、「いのちの学習」を推進しています。

今年度は、その一環として、日本全国で「いのちの大切さ」についてお話しされている鈴木中人さんを招き、講演会を行いました。鈴木さんは、小児ガンで娘さんを亡くされています。生徒の中には、涙を流しながら話を聴く生徒も多くおり、感想文には、命の尊さを再認識し、今を大切に生きようと決意したことなどが書かれていました。今年度も全校生徒で「いのち」について深く考える得がたい時間を過ごすことができました。

八木中学校



全校で訪問の練習を行い、当日はあいさつ運動の趣旨を伝え、ステッカーを手渡しして配布しました。

八木中学校生徒会「あいさつ運動」の取組は、スタートして3年が経過しようとしています。本年度は地域への発信をより多く行い、地元の方との絆を深めるために、八木町内の全戸に「あいさつで今日も八木町 絶好調！」のステッカーを配布しました。

10月8日からの3日間で、地域を分担して配布しきる事ができました。訪問した時には、その場で玄関先に貼っていただいたり、温かい言葉をかけていただいたり、とてもやり甲斐を感じました。生徒会は今回の取組をきっかけに、地域の方との繋がりを大切にしながら、積極的に活動し続けていきたいと思っています。

殿田中学校



守られる側から守る側へ

殿田中学校では、生徒会を中心にあいさつ運動や関わり合った人たちへ感謝のメッセージを贈り合う Thanks tree (ありがとうの木) の取組など、「地域とつながる」活動を展開してきました。今後は地域の方々から守られているだけでなく「守る側になっていきたい」との思いで、地域の方と協力しながら、多くの人たちと手をつなぐことによって実現しそうなことに挑戦していきたいと計画中です。

これからも殿中の活動に期待してください！

美山中学校



地域道徳・育てた花を、感謝の気持ちと共に届ける

12月14日、地域道徳の一環で、美山小学校児童と一緒に地域のお宅を訪問し、ピオウの花の苗を配りました。

苗は中学生が9月に種をまき、3ヵ月間大切に育てたものです。当日は自宅近くのご高齢の方のお宅を訪問し、日頃見守ってくださる事への感謝を伝え、お庭などに植えていただけるよう依頼しました。

後日届いたお礼状には「これからも色々な事にチャレンジを」等の励ましも多くあり、地域との絆を深める取組になりました。

桜が丘中学校



信頼できる大人とともに、美しい花を咲かせる取組

本年度より、夏・冬年間2回「花いっぱい運動」と題して、校内に季節の花を飾る活動を行っています。一つのプランターに3株ずつ花の苗を植えたものを50個程度作り上げ、中庭等校内に配置しています。先月にも校外から、地域コーディネーターをはじめ、学校運営協議会委員・更生保護女性会の皆様、職場体験学習でもお世話になった花屋さんにも参加していただき、丁寧に教えていただきながら楽しく作業することができました。信頼できる大人との出会いを大切にしたい取組として、今後も継続していきたいと考えています。